

# 平成19年度 横須賀市の原子力空母に係る日米合同訓練の概要

## ～市民の安全と安心の観点から～

■ 実施日時: 平成19年11月8日(木) 10時30分から14時30分

■ 参加機関:

日本側: 横須賀市、政府機関(外務省、内閣府、文部科学省、防衛省、海上自衛隊、海上保安庁)、神奈川県

米国側: 米海軍、米国大使館

■ 日米合同訓練の4つの柱

① 情報伝達・共有

- 日米間のシームレスな情報伝達・共有
- 横須賀市災害対策本部に日米のあらゆる情報を集約

② 広報

- 市民生活の安全と安心確保のため、迅速な広報(3回にわたりプレス・リリースの発出)

③ 日本人従業員への連絡・通報

- 迅速な連絡・通報(3回にわたり情報提供)

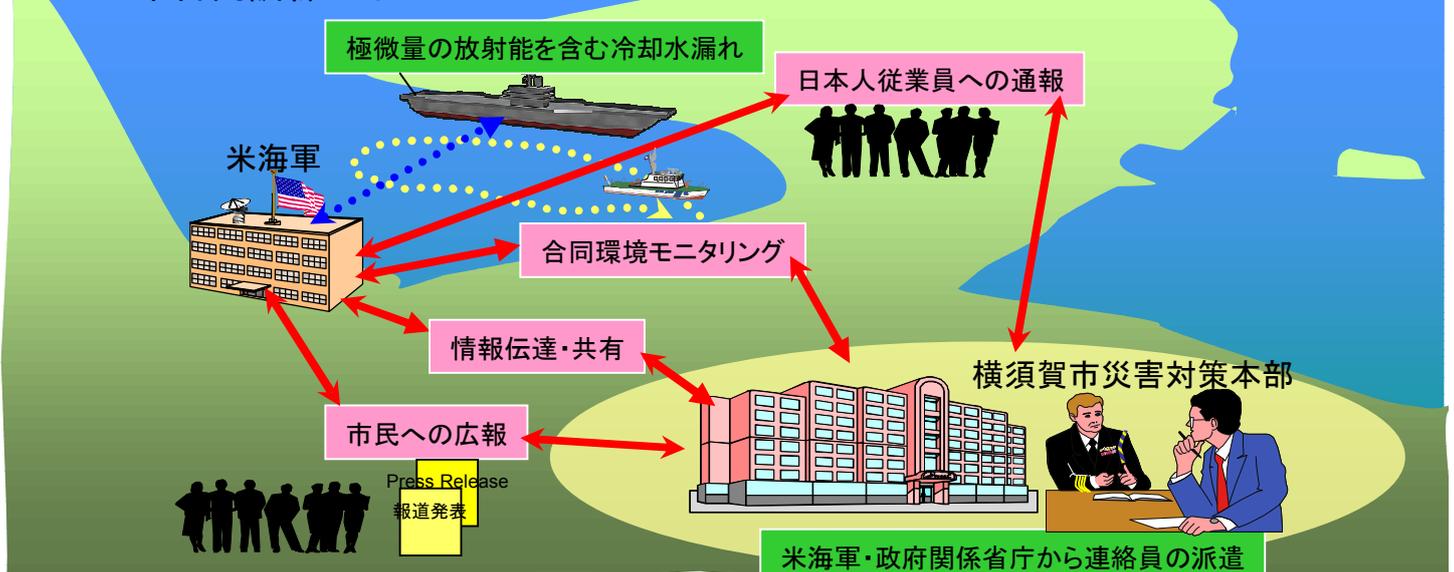
④ 合同環境モニタリング

- 日米の専門家による合同環境モニタリングの実施(海上保安庁のモニタリングボートに乗船し、海水・海底土の採取等)

■ 従来との訓練との4つの違い

	従来との訓練	今年との違い
① 原因	□ 放射能を用いた非破壊検査(すなわち、原子力艦とは無関係の事象)	■ 原子力空母から極微量の放射能を含む冷却水漏れが生じたとの想定
② 日本人従業員に対する安全上の配慮	□ なし	■ 米海軍側から日本人従業員に対して遅滞なく連絡・通報
③ 米海軍の参加	□ 電話連絡及びオブザーバー派遣のみ	■ 市災害対策本部への連絡員派遣 ■ 本部との連絡通報、広報、合同環境モニタリングに積極的に参加
④ 日本政府関係省庁の参加	□ 電話連絡等による参加	■ 市災害対策本部への連絡員派遣 ■ それぞれの専門的観点から意見・情報提供を行う他、米側との連絡・調整を支援

■ 日米合同訓練のイメージ



# 日米合同訓練 タイム・テーブル

別添

時刻	市役所内			横須賀海軍施設内	
	情報調整室	災害対策本部室	来賓室		
10:30	米海軍からの第1報	災害対策本部の立上げ			
	米海軍からの第2報				日本人従業員への第1報
	米海軍・国・県からの連絡員とともに、情報収集、広報文作成			10:50-11:00 第1回本部員会議	
				11:20-11:35 第2回本部員会議	
11:30	第1回報道発表(想定)			日米合同環境モニタリング (海水の採取等)	
12:30	第2回報道発表(想定)			日本人従業員への第2報	
13:30					
14:30	第3回報道発表(想定)	14:20-14:25 第3回本部員会議	14:00-14:15 在日米海軍司令官の横須賀市長への報告	日本人従業員への第3報	
		災害対策本部の解散			

(注) 時間については、訓練当日の進行状況により前後することがあります。